

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 はじめのいっぽ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	手厚い職員配置で丁寧に関わり、応答的なやりとりを心掛けていること	職員：児童の比率が1:1または2:1になる配置を確保している。 集団生活での自立に繋がるスモールステップの場として環境を整えている。	小集団・個別での療育をバランスよく取り入れ、1人ひとりの発達に寄り添った支援を継続していく。
2	ホームページ、Instagram、LINEを活用した情報の発信	LINEでは来所時の様子を写真と文章共に保護者様と共有している。 Instagramは支援内容を毎日更新し、児童や保護者に支援内容を周知するとともに、不特定多数の方にも認知が広がるよう意識している。	保護者様に対しては、より分かりやすさや伝わりやすさを心掛け、発達段階や成長の共通理解を深めていく。 Instagramの長所を活かし、表方発信の幅を広げていく。
3	環境の構造化を心がけ、目で見てわかるようにしている	順番や、ルールが目で見えて理解できることで、自分で出来た事が増え、自信へ繋がるように心がけている	子ども達が自信を持って様々なことに挑戦していけるように、活動を見守りながら分かりやすい支援を継続していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族参加の研修や行事実施の難しさ	就労状況により不要と感じている保護者様も多い。 参加しやすい日時や場所、内容の設定に困難さを感じている。	研修講座など学習要素が強いものだけでなく、純粹に児童が家族と一緒に楽しめたり、参加者同士が交流したりできるような行事なども検討していきたい。
2	非常時等の対応やマニュアルの周知が薄い	各種マニュアルの作成や職員研修、避難訓練等に取り組んでいるが、発信力が弱い。	Instagramでの発信だけでなく、研修や訓練内容を各家庭に事後報告することで認知度を高めていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 はじめのいっば

公表日：令和8年3月

利用児童数：17 (令和7年12月現在)

回収数：17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3	0	1	物件の事情なので仕方ないと思います	環境設定を工夫し、運動活動時には場所を移動する等、人数に適した配慮を行っています
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0	子ども、保護者双方に寄り添った働きかけがあると感じられ、ありがたいです	お忙しい中アセスメントや面談の時間を調整していただけており、計画の作成を丁寧に行うことができています
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	0	すごく良いと思います	様々な経験を楽しく積んでいるよう引き続き工夫していきます
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	0	0	3		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	3	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		
保護者 への 説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的な支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	3	8	・現状のままで特に不足は感じていません。 ・仕事が忙しいので保護者会は不要、それ以外で十分に情報共有をいただいています	今後も各ご家庭の状況を踏まえながら検討していきます
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	0		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1	説明を受けていたら申し訳ありません	入所手續時に説明をしていますが、説明事項が多いことも踏まえてより分かりやすく丁寧に伝えていくことを心がけていきます
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明が行われていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	4		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	5		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	2		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1		
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0		
	29 事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 はじめのいっば		公表日：令和8年3月		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に直し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	11	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2	アコーディオンカーテンで仕切る事ができるようになったが、視覚的に難しい部分がある	可視な範囲で今後も環境整備に取り組みしていく
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8	3	全員で一斉に振り返る時間はなかなか取れない	話し合いの時間を計画的に捻出していくようにする
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	5		地域支援マネジメントでの巡回等、事後共有をしっかりと行っていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	14	児童発達支援計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか。	7	4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
	24	障害児福祉支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	10	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	3		今後、更に関わりを持っていきたい
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保護所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	3	該当児童が在籍している場合は、行うことができるとよい	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外研研修に参加させているか。					
31	(31は、事業所のみ回答)					
32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	4			
33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で色のこどもと活動する機会があるか。	4	7		地域のイベント等では交流を持つ事ができている	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	6	日常でのアドバイス等はできているが、研修はできていない	課題のニーズに合わせ、必要に応じて検討していきたい	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0			
37	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0			
38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	1			
39	定期的に、家族等からの子育てでの悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0			
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	9	保護者会は実施できていない	現時点では親会の都合で参加が難しいとの声があがっている為、状況に応じて検討する	
41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0			
42	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0			
43	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	11	0			
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	3	8			
46	事業防犯マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	策定はしているが、周知は深い	訓練や研修の様子をSNS等を通じて発信し、周知していく	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0			
48	事前に、障害や予兆様態、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1			
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1			
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な研修を履修する等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	11	0			
51	こどもの安全確保に際して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	11	0			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	4			